

●研修カリキュラム

基本的には、これまで農業に関わる実務的な教育を受けていない人を対象とした**基礎的な内容**です。
 講義・演習・校外学習は、原則として、火曜日又は木曜日のいずれかに行います。
 (午前の部 8:50～10:20、10:30～12:00、午後の部 13:00～14:30、14:40～16:10)
 なお、内容等は都合により変更することもあります。
 行事等及び学科の履修時間の合計180時間を修了目標とします。

区 分	科 目	時間	内 容	対象	
行事等	開 講 式	3.0	校長あいさつ、オリエンテーション、自己紹介	全コース	
	就 農 支 援	48.0	就農経営計画作成、プロジェクト、個別面談等		
	発 表 会 ・ 閉 講 式	6.0	校長あいさつ、就農経営計画・プロジェクト発表、修了証授与		
	履修時間小計		57.0		日数換算 9.5 日
学科 (共通科目)	講義	農 産 物 の 流 通	3.0	農産物の流通経路、市場システム	全コース
		農 作 業 安 全	1.5	農作業事故の発生原因と防止対策	
		農 業 経 営 の 基 礎	3.0	農業経営の概念、経営計画、経営管理、決算書	
		農 業 簿 記 の 基 礎	12.0	仕訳帳の基礎、決算処理、棚卸台帳、減価償却表の作成	
		税 制 の 基 礎	6.0	所得税、消費税、相続税、固定資産税の概要、青色申告	
		農 産 物 の マーケティング	3.0	マーケティングの概念、構成要素、経営戦略	
		経 営 と 財 務	3.0	開業に係る手続きと財務処理、経営分析、原価計算など	
		農 地 制 度 の 基 礎	3.0	農地の現状、制限事項、農地の貸借	
		農 業 金 融 制 度 の 概 要	3.0	制度資金の種類と目的、種類別の利用方法	
		先 輩 農 業 者 からの 提 言	3.0	就農準備、就農後の実情、農業への思い	
		労 務 管 理 の 基 礎	3.0	労働基準法の基礎と農業における特例、雇用契約のポイント	
		6次産業化と食品表示制度	3.0	6次産業化の基礎知識、食品表示制度	
		プ ロ ジ ェ ク ト 活 動 の 意 義 と 進 め 方	3.0	プロジェクト活動の意義、展開過程、種類、効果 プロジェクト計画の組み立て方	
		植 物 生 理	6.0	植物の構造、植物と無機栄養、光合成、植物の成長	
		GAP の 意 義 と 取 組	3.0	GAPを活用した農業生産	
		病 気 の 診 断 と 防 除	3.0	農作物の病害に関する診断・防除の事例紹介	
		害 虫 の 診 断 と 防 除	3.0	農作物の害虫に関する診断・防除の事例紹介	
		病 害 虫 の 基 礎 知 識	1.5	病害虫に関する基礎知識、薬剤ローテーションの意義	
		雑 草 防 除	1.5	雑草の種類と生態、除草技術	
		農 薬 の 正 し い 使 い 方	3.0	農薬の基礎知識、ポジティブリスト制度、安全使用	
		土 壤 肥 料	6.0	土壌の物理的・化学的性質、肥料と施肥の基礎	
			3.0	作物・土壌条件に見合った施肥設計技術	
		施 肥 技 術 論	3.0	土づくり、たい肥の効果、減化学肥料栽培技術	
農 業 気 象	1.5	農業気象の基礎			
演習	土 壤 診 断	6.0	土壌診断の基礎、サンプリング、分析・診断		
共通科目履修時間小計		90.0	日数換算 15.0 日		

区分・科目		時間	内 容	対象	
学科 (選択科目)	講義	花 き 栽 培 論	12.0	花き栽培の基礎、小ギクの栽培方法等	花き
		作 物 栽 培 論	6.0	作物(水稲、麦、大豆)栽培の基礎	作物
		果 樹 栽 培 論	12.0	果樹栽培の基礎	果樹
		野 菜 栽 培 論	24.0	野菜栽培の基礎	野菜
		農 業 入 門 講 座	3.0	農業に関する基礎的な用語解説	希望者
		農 業 機 械 実 習	6.0	草刈り機の基礎、ロータリー耕の基礎	
		新規就農するためのノウハウ	3.0	意志決定、就農準備、計画、農地の取得、就農後のこと	
		就農支援制度の概要	1.5	新規就農者の動向、就農計画認定制度、就農支援資金	
		農 福 連 携 入 門	1.5	農福連携の概要、実践事例	
		情 報 処 理 の 基 礎	6.0	ワード・エクセル等の使い方、インターネットによる情報収集等	
	生 産 高 度 化 研 修	24.0	作物、野菜、果樹、花きの最新の農業技術		
	校 外 学 習	24.0	先進農家(農業法人・新規就農など)、市場、研究施設など		
	演習	パソコン農業簿記(初級)	6.0	農業簿記の基礎と、パソコン簿記による仕訳の方法	
		パソコン農業簿記(中級)	6.0	パソコン簿記による仕訳と、財務諸表の作成	
農産物利活用研修		3.0	農業のマーケティングと6次産業化		
未 定		6.0	未定		
選択科目履修時間小計		144.0	日数換算 24.0 日		
修了に必要な行事等・学科履修時間合計		180.0	日数換算 30.0 日		
実習	どちらか 選択	自 己 ほ 場	900.0	自己ほ場で実習 (両親等から技術的な指導を受けることが可能なこと。)	全コース
		先 進 農 家	900.0	先進農家で実習(ただし、先進農家は各自で選定する。)	
目標履修時間合計		900.0	日数換算 150.0 日		

【参考】 農業機械研修受講により取得可能な資格(予定)

免許・ 技能 注	免許	大 特 免 許	大型特殊免許(農耕車限定)取得のための講習 (別に試験を受ける必要あり)	希望者
	免許	けん引免許	けん引免許(農耕車限定)取得のための講習 (別に試験を受ける必要あり)	
	技能	小型車両系 建設機械	バックホー等の知識及び基本操作等の技能習得、 修了証の取得	
	技能	フォークリフト	フォークリフトの知識及び基本操作等の技能習得、 修了証の取得	
	技能	刈払機	刈払機の取り扱い、知識及び基本操作等の技能習得、 修了証の取得	

(注) この研修は、ニューファーマーズ研修の履修時間には含まれません。
別途受講料・手数料などが必要です。
内容等は変更する場合があります。